

# 釣れ釣れなるままに

1994年思い出の釣行記 PART. 2

# 砂政泊平盤

## 鹿島釣狂

### 個人釣行

☆釣行日	平成6年4月29日(金)30日(土)		
☆入釣場所	砂政泊平盤～弁慶茶屋右岬		
☆潮	満潮	14:45	24cm
	干潮	00:45	-4cm
	満潮	08:14	20cm
☆天候	小雨 北西の風強い 波2m		
☆エサ	イカゴロ40本 イソメ2箱 イワムシ1箱 サンマ6本 オキアミ1ブロック イサダ2ブロック ホッケパワー3袋		
☆釣果	ホッケ	390mm	32
	カジカ	380mm	1
	タコ		1

30日は土曜休業のため、29日～1日の2泊3日で計画を立てる。10時頃出掛ける予定でゴソゴソとやっているとき妻が起き出し予定変更を余儀なくされる。妻がバトミントンに出掛けた後、12時ころ娘が帰宅し、13時に出掛ける。天気もだんだん曇ってきて小雨がばらつき始める。

17時、弁慶岬に到着し、一旦、食料を買いに寿都の街まで戻るが、弁当がなく、適当

なおかずとパンを買う。

砂政泊平盤には18時ころ到着し、C点で釣り始める。さっぱりアタリはないが20時ころカジカ38cmが釣れる。その後、ホッケ1匹を追加しただけでアタリも止まってしまった。



21時ころ根がかりがあり、道糸を持って切ろうとしたとき、ググーと抜けてくる。しばらくはゴミでも寄ってきているのだと思うが、動く気配を感じ、渚に近寄るとタコである。一度引き上げに挑戦したがその場は斜め下がりの岩盤なので到底無理である。思い止まり左方向を見ると岩盤が直角になって海に落ちている。手の届く所までタコを誘導する。多少うねりもあるため足場を固めて手を差し出す。やっと届いたところで引き上げようとするが

重くて一気に持ち上げることができない。途中で落としてしまう。タコも必死である。テグスを切るために軍手を履いていたことが幸いし、また、タコと岩盤の間に足をこじ入れた事もあり、やっとの思いで取り上げる事ができた。それからはしばらく息も切れ放心状態になる。ホッケをもう1匹追加し、23時に車で休む。(弁慶岬駐車場)

スピリッツグラスコに入れてきたウイスキーをちびりちびりやっているうちに寝入る。朝4時半に目が覚め、辺りが明るくなっておりどこに入るか迷う。

軍艦岩に入ろうと思いつき入り口を捜すがよく分からない。軍艦岩の右側をさまよひ、軍艦岩にたどり着くが波の状態が思わしくなく渡ることが出来ない。ホッケ釣りに切り替える。

弁慶茶屋立岩の左側には人がたくさん入っているが右側は一人いるだけである。右側に入りほぼ2時間入れ食いの状態である。まだまだ釣れそうだが家に電話をしなければならぬこともあり8時に上がる。弁慶岬の売店で電話をかけ、帰りにあいの里に住む母親宅に寄ることを告げ、しばらく海の状況を確認する。

13時一路札幌に向け車を飛ばしたが、眠気を催して少しの休憩のつもりが1時間ぐらいぐっすり眠る。母親に早速魚を捌いてタコも茹で、タコの刺し身とホッケのフライで酒を飲んで1泊した。